

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 8-2-5	事務事業名 スズメバチ等の巣撤去費用助成事業	所管部課 みどり環境部 環境保全課
----------------	---------------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	ハチの巣(ハチが現に出入りし、住かとしているハチの巣)の駆除に要する経費の一部を市が補助することにより、市民へのハチによる被害を防止し、市民の安全な生活環境を保持することを目的とする。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要:補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 市内の一戸建て、共同住宅及びその敷地内、市内の道路に面した土地にできたハチの巣について、所有者若しくは所有者に準ずる者が、ハチの巣の撤去に要した費用(限度額:スズメバチ13,000円、スズメバチ以外7,000円)の半額を補助する。 市と協定を結んだハチ駆除業者に補助金の請求・受領を委任した場合は、補助額を差し引いた額をハチ駆除業者に支払い、交付申請と駆除報告をハチ駆除業者が取りまとめて行うことで、市民の利便性と事務の効率化の両立が図られている。 (予算事業名:04.01.04.01 環境衛生事業費(スズメバチ等の巣撤去費用助成金))	
事業開始時期	平成22 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
事業費(A)		707	870	1,063	1,100
財源内訳	国庫支出金・都支出金				
	地方債	千円			
	その他 ()				
一般財源		707	870	1,063	1,100
所要人員(B)	人	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,381	2,463	2,381	2,490
臨時職員賃金等(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	3,088	3,333	3,444	3,590
単位当たりコスト					
(E)=(D)/ (ハチ駆除作業件数)	千円	22	23	19	

活動等指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
① ハチ駆除作業件数	実績値 件	138	145	179	
② ハチ防護服貸出件数	実績値 件	11	9	5	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 駆除作業件数は、年々増加している。温暖化の影響により、ハチの活動期間が長くなってきている傾向にある。 (スズメバチの依頼件数:27年度 123件 スズメバチ以外の依頼件数:27年度 56件)					
成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度
一次 ハチの巣等の駆除件数	目標値 件	110	110	110	110
	実績値 件	138	145	179	
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 市民からのハチ駆除作業の依頼が年々増えてきているが、中には、緊急性のない駆除依頼もある。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市役所で、無料にて直接駆除してほしい等の意見がある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	スズメバチの駆除に対する補助を行っている市は26市中9市、スズメバチ以外の蜂の駆除に対する補助を行っている市は西東京市を含め2市となっている。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	防護服の貸出し(本市も実施)や殺虫剤の無料貸出し等を行っている自治体もある。

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等</p> <p>その年の気候にも影響されるが、年々補助対象者が増えている。また、高齢者等、自ら駆除することのできない方が増加していることも駆除件数が増加している要因として考えられる。</p> <p>市では、ハチの防護服の貸し出しも行っているが、スズメバチなど危険なものは専門業者に依頼することを推奨している。</p> <p>市民の方からは、市の職員による無料でのハチの巣の駆除を要望する意見もある。しかしながら、スズメバチについては、ある程度大きくなると専門業者による駆除でなければ危険を伴うため、補助事業としている。</p> <p>今後についても、引き続き、市民生活の安全のため、継続して事業を実施する必要があると考えている。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	1	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等</p> <p>ハチの巣の駆除に要する経費の一部を市が補助することにより、市民へのハチによる被害を防止し、市民の安全な生活環境を保持することを目的とする事業であり、近年のハチの駆除件数の増加をみると市民の要望は高いものと思われる。</p> <p>本事業は、ハチの種類に応じ、予算の範囲内でハチの巣の撤去に要した費用の半額を補助するものであるが、他自治体に比べて高い金額設定であることやスズメバチ以外のハチの巣の撤去も対象としていることなどから、助成対象範囲や助成限度額等については見直すべきである。</p> <p>また、市民にできるハチ対策となるハチの巣発生の未然防止や対応、ハチに対する知識の周知など、積極的な情報発信に努められたい。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	1	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業については、市民の安全な生活環境を保持することを目的として実施されており、必要な事業と考える。</p> <p>しかしながら、他自治体に比べると、補助金額が高いことに加え、危険性の低いハチの駆除についても補助対象とするなど、対象範囲や限度額について見直す必要があると考える。</p> <p>併せて、ハチの巣発生の防止や発生時の対応、ハチに対する知識の周知などの情報発信にも努め、本事業の効果的な運用を図られたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>◇平成29年度 危険性の高いスズメバチの巣のみを対象とする制度へ見直す。併せて、ハチに対する注意事項や知識等の情報発信を充実させる。</p>
---------------	---